

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Clover Kids 2階		R 8 年 3 月 13 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		広くはないがレイアウトを工夫している	児童の状況に応じて構造化を検討していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3		日によって少ない時もあるがおおむね足りている	専門職や他の加算の職員もおり休みの状況によっては基本人員の職員のみとなることもあるため、休みの工夫や勤務状況など検討をしていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3			分かりやすい空間になるよう工夫をしています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		休憩室を利用できるようになっています	休憩室などを設けています
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			職員から意見が出やすいように心がけていきたいと思っています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		必要に応じて第3者評価など検討をしていきたいと思っています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		Eラーニングもあり、個々の時間の都合に合わせて取り組めるようになっている	県のスキルアップ研修への参加やEラーニングを取り入れています
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		H Pに掲載されています	H Pに掲載をしています。必要に応じて皆をしを行っていききたいと思います
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		より良いものになるようにしていく必要はある	アセスメントについては改善など必要に応じて行っていききたいと思います
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		個別支援会議など行っています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		記録上で計画が確認できるようになっています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			アセスメントの様式については必要に応じて見直しをしていききたいと思います
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			ガイドラインについて職員に伝えていくようにしていきたいと思っています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	1	活動を固定化し、来る返すことで能力を向上している	活動を固定化し、児童の役割や行う事を増やしたりと、少しずつ変化するには工夫をしています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		課題など行う支援内容と集団活動で行う支援内容を取り入れています	個別活動と集団活動ともに適時見直しと工夫をしていきたいと思います
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			なるべく時間をとって行えるように工夫をしていきたいともいます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		その日が難しい時は次の日などに行うようにしています	事業所の体制など工夫をしていきたいと思います
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		モニタリングは少なくとも6カ月ごとに行っています	必要に応じて日々モニタリングを行えるようにしていきたいと思います
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		課題、運動、昼食の時間など自己選択できるようにしている	選択支援をいろいろな場面で取り入れるよう今後も検討をしていきたいと思います
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		学校や他の福祉サービスと必要に応じて連絡などを行っています	必要に応じて関係機関と連携が出来るようにしていきたいと思います
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		家族が難しい場合は学校とも確認をしています	学校とも細かく連絡調整が出来るように工夫をしていきたいと思います
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	一部の園には前もって見学に行くなど行っています	就学前に園などに情報収集に行けるよう調整をしていきたいと思います
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3			相談支援専門員と連携しながら今後も行っていききたいと思います
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		地域支援マネージャーからの助言を今後ももらうようにしていきたいと思います
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	児童クラブとの併用を進めるようにしています	必要な頻度の利用と児童クラブの利用を進めていき、地域で生活が出来るように今後も行っていきたいと思います
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1		自立支援協議会の部会に今後も参加をしていき、職員へ反映できるように検討をしていきたいと思います
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		ペアレントトレーニングの研修を開催しています	年に1回のペアレントトレーニングの研修を継続していきたいと思います
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			契約時に説明をしています、今後も丁寧な説明を心がけたいと思います
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		アセスメントやモニタリング時に確認をするようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		説明して同意を得るようにしています	今後も丁寧に説明が出来るようにしていきたいと思います

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		家族会を行っています	年に1回の家族会を継続していきたいと思います
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		Hug（連絡用アプリ）をよりよく活用できるように工夫をしていきたいともいます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		地域住民を招いていませんが、出向いて交流は行っています。今後も地域と交流が出来るように工夫をしていきたいともいます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		定期的に訓練を行っています	マニュアルに関しては適時見直しを行い、職員に周知をしていきたいともいます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			毎年見直しと訓練及び研修を今後も行っていきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		フェイスシートなどを活用しています	フェイスシートなど見直しなども行っていきたいともいます。サポートファイルなど必要に応じて活用していきたいともいます
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	医師の指示書を必要とする児童がいない	必要に応じて医師に確認が出来るようにしていきます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	HPに掲載し、家族にも配布をしています	今後も職員間と家族にも周知を行っていくようにしていきたいともいます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			Hug（連絡用アプリ）をよりよく活用できるように工夫をしていきたいともいます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		その都度記載し検討をするようにしています	小さなことでもヒヤリハット報告書を作成し改善できるようにしていきたいともいます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			県のスキルアップ研修やEラーニングで研修をしていますが、必要に応じて他の研修も検討をしていきたいともいます
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			